

# 地質調査所の

## 標本 その1

明治7年(1874)、ときの内務省地理寮に本邦産の土石・鉱物標本が出品されたのが、地質調査所標本陳列室の始まりとなつて、以来80余年の歴史をもつて今日に及んでいる。

濠洲期の標本は明治15年(1882)に農商務省に新設の地質調査所へ受継がれてから次第に整備発展し、明治末期には調査の機構の一部門として標本陳列館が設けられ、地質および地下資源に関する知識を啓発させるための資料として一般に公開されるようになった。

当時の収集品中には市ノ川(愛媛)の輝安鉱、苗木(石川)の黄玉等標本として世界的に出色のものも少なくなく、その充実した内容は諸外国に誇り得る水準をもち、参観者も毎年20,000人をこえる状況であつた。

明治から大正へこのように調査所の標本陳列館は順調に発展をしていつたが、関東大震災(1922)により一挙に壊滅する不運に会い、以来不振の時代を迎えるに至つた。

しかし、先輩諸賢の努力によつて順次復興してきたところを、今次の大戦により再び被災したのであつた。

戦後10年余、かつての面目に戻すため、また実物の資料により日本の地質・地下資源について、随時誰にでも確実に理解できるよう、各種の標本の収集・整備に努力し最近はかなりの充実を見るようになった。

現在の陳列室の標本は14,000余点に及び鉱物・岩石および化石の3室に分かれ鉱物は資源別、岩石は岩種別、化石は種属別、時代別に分類されている。

しかしながらこの現状は先進国における地質調査所の標本陳列館の内容にくらべると、まだまだ劣る点もあるので、今後一層の拡充が期待されている。

現在地質調査所において保管されている各種標本の状況は次の通りである。

1. 鉱物標本 6,298点
- (1) 鉄鋼原料鉱物
- |      |     |        |     |       |    |
|------|-----|--------|-----|-------|----|
| 鉄    | 287 | ニッケル   | 23  | モリブデン | 65 |
| コバルト | 43  | クローム   | 41  | バナジウム | 3  |
| マンガン | 203 | ダングステン | 119 | チタン   | 38 |
- (2) 非鉄金属原料鉱物
- |    |     |       |     |        |     |
|----|-----|-------|-----|--------|-----|
| 金  | 207 | 砒     | 77  | 稀土類    | 100 |
| 銀  | 106 | 水銀    | 38  | リシウム   | 22  |
| 銅  | 644 | アンチモン | 42  | トリウム   | 53  |
| 鉛  | 149 | 白金    | 1   | ベリリウム  | 43  |
| 亜鉛 | 159 | 硫黄    | 388 | アルミニウム | 39  |
| 亜鉛 | 27  | ウラン   | 82  | テルル    | 18  |
| 錫  | 57  |       |     |        |     |
- (3) 非金属鉱物
- (4) 窯業原料鉱物
- |    |     |              |     |    |     |
|----|-----|--------------|-----|----|-----|
| 珪石 | 74  | 長石           | 65  | 石  | 133 |
| 粘土 | 111 | 陶            | 96  | 黒鉛 | 58  |
|    |     | 蠟            | 104 | 滑石 | 42  |
|    |     | 菱苦土          | 17  |    |     |
|    |     | 紅柱石・珪線石・藍晶石類 | 41  |    |     |
- (5) 肥料鉱物
- |    |    |   |    |
|----|----|---|----|
| カリ | 22 | 燐 | 69 |
|----|----|---|----|



鉱物陳列室の一部



(イ) 化学工業原料鉱物

バリウム鉱 74 岩 塩 7 硼酸 鉱物 78  
 螢石 57 ストロントウム鉱 7

(ロ) 一般工業原料鉱物

雲母・蛭石 78 柘榴石 96 沸石 135  
 石綿 36 珪藻土 11

(ハ) 装飾材鉱物

水晶 65 玉髄・瑪瑙 98 黄玉 12  
 紅石英 4 蛍白石 17 金剛石・鑽石 17

(4) その他の鉱物 1,597点

2. 岩石標本 3,975点

深成岩 302 火山岩 584 変成岩 197  
 半深成岩 100 水成岩 318  
 建築石材 43 珪石材 20  
 図幅資料岩石 2,411

3. 化石標本 3,965点

分類	新生界		中生界			古生界		計
	白堊系	ジュラ系	三畳系	二疊系 石炭系	ゴトランド系	カンブリア系		
有孔虫類				161				161
海百合類				1				1
海胆類	21							21
藤虫類				13		1		14
腕足類				22				22
斧足類	2056	178	11	18	5	2		2270
掘足類	53							53
腹足類	699	1						700
頭足類		357		2				359
珊瑚類	10					15		25
昆虫類	1							1
哺乳類	9							9
植物	211	8	81	27	1		1	329

(地質部 標本室)

お願い

標本室見学御希望の方は事前に見学期日・人数等を御連絡下さるようお願いいたします。

川崎市久本町135

工業技術院地質調査所 Tel. (72) 4291-3  
 (70) 1146-8

国電 南武線「武蔵溝ノ口」 } 下車 徒歩約10分  
 東急 大井町線「溝ノ口」 }

化石標本の陳列



化石陳列室の一部



標本整理室の一部



岩石標本の陳列